



### 市内農産物栽培の 病害虫対策

稲城市で長い歴史のある果樹類の栽培は、年に複数回、病害虫対策のために農薬を使用する必要があります。市では、農薬の飛散を抑える防薬シャッターの設置促進や、農



▲のぼり旗で周知

薬散布を周知するのぼり旗の掲揚の徹底等、周辺環境と共生できる農業の推進確立を目指しています。ご理解とご協力をお願いします。

経済課農政係、JA東京みなみ稲城支店指導経済課 ☎377・6002

### 5月22日は 国際生物多様性の日

生物多様性とは、生き物が暮らす環境で、多種多様な生き物がお互いにつながり影響し合っており、個性豊かに生命を育んでいることです。

私たちの暮らしは、食べ物・衣服・飲み水等、色々な形で生き物がもたらす恵みに支えられています。この機会に生物多様性について考えてみ

ませんか。詳細は「国連生物多様性の10年日本委員会」をご覧ください。

### ごみ減量地域説明会

ごみ減量やリサイクルについて、市職員による出張説明会を随時開催しています。ごみの分別・出し方・処理の流れ、ごみ減量のポイント等についてお話しします。

市内在住・在勤・在学の団体やグループ  
▽説明時間 20分～1時間程度(平日のみ)  
申電話  
希望日の2週間前  
先週生活環境課ごみ・リサイクル係

### ご協力ください 有害物の分別徹底

リチウムイオン電池等の充電電池・電気シェーバー・モバイルバッテリー・電子たばこ等の充電電池を取り外せない小型電子機器は有害物の日に出してください。誤って燃えないうみに混入すると、ごみ処理施設内で火災が発生する恐れがあります。ごみを出す前に、もう一度、正しく分別されているか確認しましょう。

市で処理できないごみ例  
○鉄アレイ  
○消火器  
○発炎筒等  
※メーカー・販売店・処理業者にご相談ください。  
先週生活環境課ごみ・リサイクル係



### 会員募集 稲城市ファミリー・サポーター・センター

子育ての支援を受けたい方が会員となり、地域の中で子育てを支援する有償の助け合い活動事業です。

市内在住で生後4カ月～小学6年生のお子さんの保護者  
活動会員による子どもの送迎や短時間の預かり等  
年会費500円、利用料1時間当たり1人900円～1100円(食事代・交通費等別途負担あり)

### 活動したい方

詳細はお問い合わせください。

市内在住で子育ての支援に興味があり、講習会受講後に活動できる方等

◆共通事項  
申電話、メール  
先週ファミリー・サポーター・センター事務局(社会福祉協議会) ☎378・5551、✉kaika@inagishakyo.org

### 子どもショートステイ

保護者の出産や病気等で一時的に育児が困難になった場合に、市が委託する市内の施設(福)東京サレジオ学園または養育協力家庭で短期間お子さんを預かります。

市内在住で1歳6カ月(養育協力家庭は2歳)～小学6年生のお子さん  
費用利用内容により異なる(1人

### 青少年委員を 委嘱しました

4月1日付で2人の方に青少年委員を委嘱しました。任期は令和7年3月31日までです。青少年委員は、各地区の青少年育成地区委員会等からの推薦により選出されます。

▽青少年委員  
○永松 祥太郎氏(東長沼)  
○北村 与紗氏(坂浜)  
先週児童青少年課青少年係



▲北村 与紗氏 ▲永松 祥太郎氏

## シャッター

### 第14回三沢川清掃を実施しました (3月3日・三沢川)

坂浜地区の新きさらぎ橋から矢野口地区の天神橋までの三沢川の川岸・歩道のごみ拾いを行いました。約450人の参加があり、燃えるごみ260kg、燃えないごみ120kgを回収しました。



### 稲城市高齢者見守りネットワーク事業協定を締結しました (3月21日・市役所)

東京ガス(株)東京西支店・東京ガスライフバル南多摩(株)と、日常生活や業務の中で気付いた高齢者の異変を市や地域包括支援センターに連絡し、安否確認等適切な支援につなげるための協定を締結しました。



### 消防団普通教育訓練を実施しました (4月7日・南多摩水再生センター)

可搬式小型消防ポンプ取り扱い訓練・油圧ジャッキ救助訓練・新入団員基礎訓練・東京都消防訓練所講師指導によるポンプ操法訓練を実施しました。一緒に活動する消防団員も募集しています。詳細は稲城消防署防炎課消防団係(☎377-7119)へお問い合わせください。



### 高齢者叙勲(瑞宝双光章)を受章しました (4月18日・市役所)

昭和55年度～平成5年度に稲城市内公立中学校に勤務され、平成6～12年度に教育長を務めた寺沢 史氏は、長年の教育委員会での活動を認められ、高齢者叙勲を受章され、市長へ表敬訪問しました。



### 稲城市出身の松永 彩珠選手がデフバレーボール世界選手権2024に向け表敬訪問しました(4月18日・市役所)

6月に沖縄県で開催されるデフバレーボール(聴覚障害者によるバレーボール)世界選手権2024に出場することが決定した松永 彩珠選手が市長へ表敬訪問しました。世界選手権や2025年のデフリンピック東京大会に向けての抱負を語りました。



### 稲城市&日野市ヴェルディ応援DAYが開催されました (4月28日・味の素スタジアム)

東京ヴェルディVSアビスパ福岡戦が「稲城市&日野市ヴェルディ応援DAY」として開催されました。東京ヴェルディより寄贈いただいたランドセルカバーを着けた小学1年生による選手とのハイタッチイベントも実施され、選手と触れ合う機会になりました。

